

市民のひろば

☎ 857-8585 (住所不要) 市役所秘書課広報係 (☎ 1111)
E メール hishok@city.sasebo.nagasaki.jp

広報 掲示板

広報紙に対してお寄せいただいたご意見を、ご紹介するコーナーです。

学校生活についてや、イベント情報も充実しています。参加してみたい情報も多くありますが、こちらに嫁いで、佐世保市民の情熱が伝わってくるようです。今後もご活躍期待しております。100周年おめでとうございます。

(広報係から)

京都からのお便り、ありがとうございます。係員一同うれしく読ませていただきました。ふるさとを懐かしく思い出していただけるような、温かい紙面づくりを目指してまいります。今後ともよろしくお祈りします。

●毎月実家から送ってもらっています

(京都府舞鶴市在住の方)
毎月実家より、広報させばを送ってもらって楽しんでいます。ページ数も多く、話題も豊富。

おたより コーナー

6月号にお寄せいただいたお便りをご紹介します。ご投稿いただいた皆さん、ありがとうございました。

カノコユリは、日本では絶滅が心配されている、大変貴重なユリの原種です。一部の心無い人たちによって、この美しい花を絶やすことのないよう、私たち一人ひとりが大切に守っていきましょう。

●市の花カノコユリについて

(早岐2丁目 荒木 敏子さん)
昨年だったと思います。市の花の募集のとき、カノコユリと書きました。10数年前、実家からもらって来て、我が家の庭に植えています。市の花にカノコユリがなり、とてもうれしいです。きれいなユリですね。



(広報係から)

お便りありがとうございます。カノコユリは、白い花弁にたくさんのピンク色のはん点があり、鹿の子絞りの模様に似ていることから、この名前が付いたと言われています。市民投票を経て、ことしの4月、市の花に決定しました。

●「海王」がなくなるのは寂しいです

(東浜町・園田 弥生さん)
子どものころから見ていた海王がなくなるのはさびしいですね。一度も乗ることなく、新しい船に代わってしまいます。

(広報係から)

ほかにも、同じようなご意見を頂きました。7月号でお知らせしたとおり、7月20日、九十九島に新船パールクイーンが就航しました。海王に、さまざまな思い出をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、これから乗船客の多い繁忙期には、パールクイーンに加え、海王も登場する予定だそうです。運がよければ、もう一度海王で九十九島巡りができるかもしれませんね。

広報 クイズ

はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、8月23日必着でどうぞ(紙面の中にヒントがあります)。

これって どんな意味

行政用語やカタカナ用語で、「耳にはするけれど、よくわからない」というものがあればお寄せください。

- 問題① 「九十九島ファミリー夏まつり」では、〇〇〇割り競争があります。
問題② 昭和初期、今の四ヶ町通りの交通量は、県内第〇位でした。
問題③ 大正12年の関東大震災にちなみ、9月1日は〇〇の日と定められました。

全問正解者の中から抽選で、毎月3人に図書券をプレゼント。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※前回の答えは、①アカテ ②宇久、小値賀 ③ラスパイレス でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

「行政評価システム」とは?

市が行う仕事について、どれだけの予算をどんな目的に使い、どれだけ成果が上がったのかを市民の視点でわかりやすく数値化し、公表する方法です。

効率的な自治体運営を目指して、行政としてやるべき事業を厳しく見極め、経営的視点を取り入れながら、限られた行政資源(人、物、お金など)を有効に活用するための仕組みです。

本市では平成12年度に研究活動を始め、13年度には一部の事務事業で試行的に導入しました。本年度から、全事務事業を対象に、本格的に導入しています。

歴史散歩 川野火薬店の倉庫

445 (下本山町)

MR本山駅から住宅地を抜けて西に約10分ほど、九電の送電線用鉄塔を結ぶ山道の傍らに、古びた赤レンガの小さな倉庫3棟が竹林の中に建っています。使われなくなっていますが、レンガの壁はしっかりしています。

この倉庫は、相浦町唯一の火薬店として、昭和30年代初めまで洪徳寺入口で営業していた川野火薬店の火薬庫でした。店主だった川野憲一氏(昭和34年64歳で死去)は昭和17年から佐世保市議一期を務めるなど、相浦の知名士でした。

火薬店を創業したのは憲一氏の父・平八郎氏。

年代は明治20年代と思われます。憲一氏は平戸・猶興館中学から日本大学に進み、佐世保重砲大隊に志願して入隊し、砲兵少尉として勤務、やがて火薬店の経営を引き継ぎました。

大正から昭和の初めにかけて、相浦は北松浦郡第一の港として栄え、北松一円から平戸、五島方面との商取引も盛んでした。2月のあたごさん市は、果樹園芸の苗木、植木市としてにぎわい、狩猟用の銃砲火薬類も取引されたと思われます。

若いころから気鋭の良識家として人望を集めていた憲一氏は、昭和4年佐世保市合併前の山口村会議員、翌5年町への昇格で町議を務めました。火薬庫は爆発物の安全管理用です。

(筒井隆義)